

— 訓練想定 —

平成 21 年 10 月 18 日午前 8 時 00 分、福島県沖を震源とし、東北地方に激しい地震が発生した。国見町においては、震度 6 強が記録され、町内全域において多くの建物が損壊し、一部では火災が発生しており、ケガ人も多く出ている。

また、地震発生と同時に電気・ガス・水道は完全にストップし使えない状況である。さらに、電話も回線が混み合っており、ほとんどつながらない状況である。

このような状況で、町災害対策本部を設置し、町民の避難誘導、救出、消火活動等にあたることとした。



→消防団、警察署員、町職員が連携しての情報収集訓練

町内会ごとに一時集合場所からの避難訓練→



↑自衛隊による要援護者救出訓練



藤田小児童の校舎からの避難訓練→



↑伊達地方消防組合による AED 取扱説明



↑伊達地方消防組合による消火器を使用した消火訓練と煙体験→



←伊達地方消防組合による工作車救助訓練

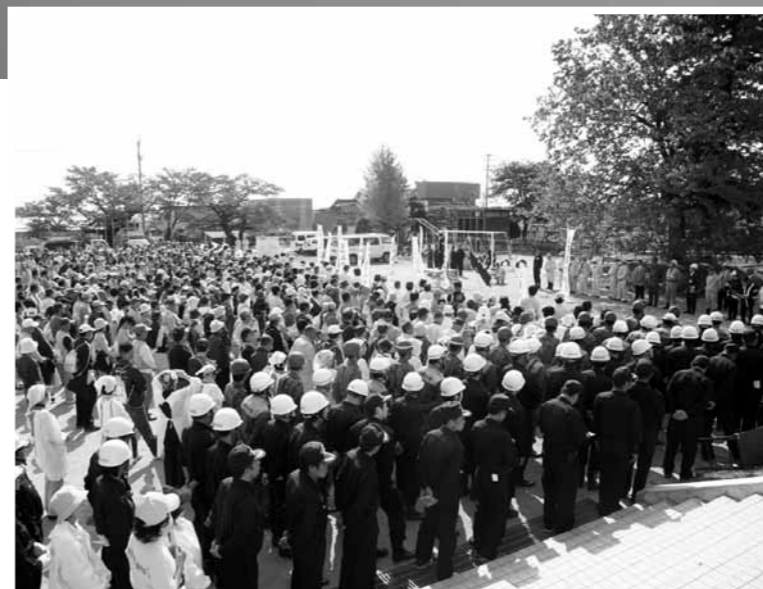
↓女性防火クラブ、社会福祉協議会、日赤奉仕団による炊き出し、配給



↑ライフライン関係説明 (写真は、(株)NTT東日本-福島による電話の説明)



「いざ！」という時に備えて
藤田地区防災訓練に 1,500 人参加！



→約 1500 人が参加し、万への備えの大切さを感じました。

↑福島県消防防災ヘリコプターによる救助訓練 (国見町消防団第 2 分団の紺野徹さんと山崎敦さんが体験しました。)

10 月 18 日、平成 21 年度国見町藤田地区防災訓練が、地区住民及び藤田小学校児童、消防署、警察署ほか関係機関など約 1500 人が参加して行われました。訓練は、午前 8 時 00 分、福島県沖を震源とし、東北地方に激しい地震が発生、国見町においては、震度 6 強が記録され、町内全域に

おいて多くの建物が損壊し、一部では火災が発生しており、ケガ人も多く出ているとの想定で始まりました。参加者は、町内会ごとに一時集合場所(各集会所など)に集合したのち、避難所となる藤田小学校へ徒歩で避難しました。避難所では、消火器による消火訓練、煙体験、N T T の災害用伝言ダイヤルなどの体験コーナー、東北電力による電源復旧作業、LP ガス協会による災害時の対応の説明等のほか、要援護者の救出訓練、A E D 取扱説明、工作車救助訓練、放水訓練、ヘリコプターによる救助訓練、炊き出し訓練などが行われました。参加者は、訓練を通じて、「備えは確実か」、「どう行動すればいいのか」、「避難経路・避難場所はどこか」などを確認し、日頃からの「備えあれば憂いなし」を改めて実感した 1 日となりました。